

国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター ニュースレター

ラグーン

# Lagoon

2022.10  
No.18

底地 (2021年12月撮影)

## はじめに

国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターのある石垣島は西表石垣国立公園に含まれています。西表石垣国立公園は今年で指定から50年を迎えるました。(なお、石垣島が国立公園に編入してからは15年が経ちました。) これは、地域のみなさま、関係者みなさまをはじめ多くの方のお力添えがあったことです。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

さて、今回のニュースレターでは今年度前半のサンゴセンターを取り組んでいる保全活動や普及啓発活動の様子をご紹介します。

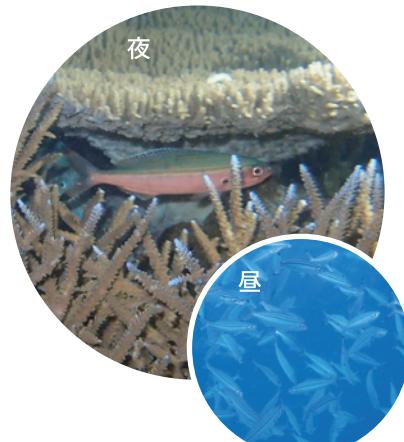


西表石垣国立公園  
50周年記念ロゴ

## のぞいてみよう！サンゴ礁の世界 ～サンゴ礁にすむ生き物をご紹介します～

グルクン 撮影地：底地

グルクンは食卓に並ぶおなじみの魚です。グルクンと呼ばれるタカサゴの仲間は、水色の体に2本の黄色いたてじま、尾びれの先に黒い点の模様があるのが特徴です。昼間、水面近くを群れで泳ぐグルクンが、夜間どう過ごしているか知っていますか？



上の夜の写真は5月の終わりにサンゴの産卵を観察するために夜の海に潜った時に撮影したものです。テーブルサンゴの下に隠れて休む姿は昼間と違い体の色が赤色に変わっていました。夜のサンゴ礁では、昼間にぎやかに泳いでいた魚たちは眠り、ひっそりといいます。グルクンの他にも暗やみに溶け込めるように夜になると赤や黒に体の色を変える魚が多くいます。そして、明るいうちは群れで泳いでいたのに、周りを見渡してもこの1匹しか見つけることができませんでした。このとき仲間はどうしていたのでしょうか。

# とく サンゴセンターの取り組み しそんさいせいじぎょう ふきゅうけいはつかつどう ～自然再生事業と普及啓発活動～

## 環境省サンゴ群集修復事業の進捗状況 2年目の成果のご報告

環境省では、2021年4月から新たなサンゴ群集修復事業を開始しました（詳細は Lagoon, No.17 参照）。その後の進捗状況をご報告します。

事業2年目となる2022年夏は、7月から8月にかけて台風が接近せず、八重山の海は危機的な高水温に見舞われました。2021年に生まれたウスエダミドリイシの稚サンゴはどうなっているでしょうか？ 図1は、2021年に生まれた稚サンゴの写真です。高水温を乗り越えて、稚サンゴたちは無事に大きくなりつつあります。

2021年に設置した7,000個の着床具のうち、2022年6月まで生き残っていたものは約2割（1,400個）ほどでした。これは想定していたよりも少ない数です。着床具の稚サンゴが減ってしまった原因の1つとして、他のサンゴ、藻類や他の生物（海綿類など）が付いて、これらに負けてしまったことが考えられます（図2）。これから詳しいことを分析して、改善策を考えていく予定です。

## イベント「海の自然教室 2022 in 真栄里」を開催しました！



ご参加下さった皆さん、  
ありがとうございました！

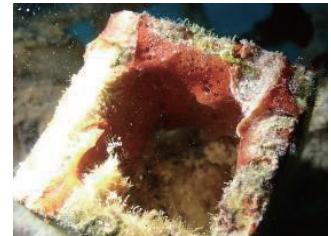


2022年にも前年と同じ方法で、石西礁湖の7海域にヤングミドリイシという種類の稚サンゴを付けた着床具7,000個を設置しました。こちらはまだ小さいので、どの程度生き残っているかの調査はこれからです。ヤングミドリイシもかつての石西礁湖でたくさん確認されたいた枝状のサンゴです。こうしてかつてのサンゴ群集を回復させるため、これからも頑張って取り組んでいきます。



▲ 図1  
着床具で成長中の稚サンゴ  
(ウスエダミドリイシ)

図2 ▶  
着床具に自然に付いた海綿類  
(赤く見えるのが海綿です)



西表石垣国立公園50周年を記念して、8月27日（土）に「海の自然教室 2022 in 真栄里」と題したスノーケル観察会を開催しました。真栄里海岸は市街地に近い海ですが、海の中をのぞくとユビエダハマサンゴの大群落が広がり、とても多様な生き物が見られる場所です。

当時は、八重山にすむ中学生や保護者など11名の参加者が集まり、サンゴ礁相手探しカードを使ったアイスブレイクや真栄里の海の特徴について講話をした他、講師から海の危険生物などの注意事項やスノーケル器材の使い方や泳ぎ方を学び、十分に自信を持ったところで、実際に海の中でスノーケルを使ってサンゴやサンゴ礁にすむ生き物の観察を行いました。

海にはサンゴ、サンゴ礁の間で泳ぐカラフルな魚たち、ハマクマノミ。海の中には色々な“すてき”が広がっていました。楽しい時間はあっという間に過ぎ、参加者からは「海のすてきをみんなにも見て欲しい！」（小4・女）という声がありました。初めてスノーケルをする方が多くいましたが、サンゴやサンゴ礁の生き物に興味を持ち、身近な海の中はどうなっているのか自分自身の目で見て、私たちの生活とのつながりを知ることができる良い機会になったのではないしょうか。

# てんじ サンゴセンターの展示

## じょうせつてんじ 常設展示スペース

サンゴセンターにはどなたでも自由に見学いただけるよう展示スペースを用意しています。展示物にはサンゴの骨格や八重山の生き物の標本があります。サンゴセンターでの取り組みや八重山の自然など知りたいがありましたら、スタッフにお気軽にお声がけください。さらに利用しやすいようリニューアルも予定しています。

また、不定期で企画展も行っています。2022年度の前半に開催した2つの企画展の様子をお伝えします。



◀ サンゴの骨格標本

鳥類の標本 ▶  
カエルの鳴き声が  
聞けるパネル



### 企画展「サンゴってなんだろう？」

○2022年5月16日(月)～5月30日(月)

会場：ユーレナ石垣港離島ターミナル

○2022年6月1日(水)～6月15日(水)

会場：国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター



八重山には日本最大のサンゴ礁・石西礁湖がありますが、海に入ってみると生きたサンゴの姿が見られないで、陸で生活する私たちにとってサンゴと身近に触れる機会は少ないかもしれません。

この企画展では、サンゴについて興味があるけれど、よくわからないという方に向けて、基礎的な知識やサンゴにまつわる疑問を解説したパネル展示を行いました。パネルの中で、サンゴは動物でありながら植物や鉱物のような特殊な生態を持ち、海の生態系を支える役割を担っていることを紹介しました。また、骨格標本を観察するコーナーや、観覧者の性格と似たサンゴのタイプを調べる“あなたは何サンゴタイプ？パネル”を設けるなどサンゴの多様性について実感できる展示を用意しました。

### 企画展「ストップ・ザ・外来種」

○2022年7月16日(土)～7月31日(日)

会場：ユーレナ石垣港離島ターミナル

○2022年8月1日(月)～8月15日(月)

会場：国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター



夏本番を迎えると、石垣島の道路上では車にひかれてペちゃんこになってしまったオオヒキガエルをよく見かけます。石垣島には特定外来生物のオオヒキガエル及びシロアゴガエル（以下：外来カエル類）が石垣島全域に分布しています。特に夏場の時期は、これらの外来カエル類の行動が活発的になり、石垣島からの物資や貨物などに紛れて、まだ外来カエル類が侵入していない石垣島周辺離島に侵入するリスクが高まります。

この企画展では、八重山に生息する外来カエル類の生態や石垣島の身近な生き物に影響を及ぼしている現状をみなさんに知ってもらい、身近な問題として外来種問題について考えるきっかけになってほしいと思い、外来カエル企画展を開催しました。

## りよう サンゴセンターの利用について

サンゴセンターでは、学校向けの施設見学の受け入れや出前授業、総合的な学習の時間と連携した体験学習をおこなっています。

また、各種イベントの開催や外部イベントでのパネル展示、講演会などを行うこともありますので、イベント開催の際にはぜひお気軽にご参加ください。



### 出前授業の様子 ▶

カンムリワシの生態や交通事故についての授業を行ったあと、イラストレーターの pokke104 さんと一緒に安全運転ステッカーをつくりました！

## 2022 年前半の利用状況

### 【出前授業・研修会】

石垣市の幼稚園・小中学校、竹富町の中学校

石垣市立校長研修会「教育講演会」

石垣市中堅教諭等資質向上研修会

▶ 内容：外来種、サンゴ礁と環境問題、JPR<sup>※</sup>

国立公園の話など ※子どもバーカレンジャー

### 【講演会】

カンムリワシ講演会、海鳥保全シンポジウム

### 【施設見学】 【スノーケリング観察会】

石垣市の小学校 一般参加 小学校4年生以上対象

### 【インターン研修】 【その他】

大学院生 1名 スノーケル器材貸出など

### 【オンライン講演会】

サイエンスカフェ ▶マナティー研究所主催

### 【ワークショップ】

サンゴの苗作り ▶アクアプラネット主催

カンムリワシ交通事故防止ステッカー作り

▷ANA インターコンチネンタルホテル石垣リゾート主催

## いしがきし ちゅうけんきょうゆとう ししつこうじょう けんしゅうかい 石垣市中堅教諭等資質向上研修会

### 「体験的手法を用いた環境学習のすすめ」

いしがきしきょういいいんかい いらい がつ いしがきし  
石垣市教育委員会さんからのご依頼で、7月に石垣市  
しょうちゅうがくこう せんせいがた めい む こうわ おこな ちゅう  
小中学校の先生方 16名に向けて講話をしました。中  
かくでき やくわり にな ちゅうけん せんせいがた  
核的な役割を担う中堅の先生方のスキルアップのため  
れいねんさまざま と あ ほんしゅうかい こ  
に、例年様々なテーマを取り上げている研修会です。今  
とし  
年のテーマは「サンゴ」！オンライン開催となりましたが、八重山で長く環境教育の活動をされている「わくわ  
いしがきじま たいけんき がくしゅう じつえん  
くサンゴ石垣島」さんとコラボし、体験的な学習を実演  
いたきました。研修の中では、プロジェクト WET、  
サンゴ学習プログラムティーチャーズガイド、LAB to  
CLASS の中から3つのアクティビティを体験していました。  
<https://lab2c.net/>



けんしゅうかい さんか ふたかた かんそう  
研修会に参加したお二方より感想をいただきました。

いしがきし きょういくいんかい  
石垣市教育委員会さんより  
ろうぐく き うみ い もの そぞう うみべ ひろ  
朗読を聞きながら海の生き物を想像する「海辺で拾つ  
につき いっぬん かみ つか みず たいせつ かな  
た日記」、一片の紙を使って水の大切さを学んでいく  
たいかい いってき こくりつこうえんがいこん こ たち きょう  
「大海の一滴」、「国立公園概論」など、子ども達が興  
み とく かみきょうようい まな  
味をもって取り組める環境教育について学ぶことができた研修でした。ありがとうございました。

いしがきじま  
わくわくサンゴ石垣島さんより  
オンラインでどこまでできるのか？ 私の不安をよそ  
に、用意した3つのアクティビティ全てがいい感じ  
もあ ごじついだ せんせいがた かんそう  
に盛り上がりました！ 後日頂いた先生方の感想では  
かんきょうきょういく たいけんてき こんご せっせとくとき じゅぎょう と い  
「環境教育、体験的手法を今後積極的に授業に取り入れ  
れていきたいです。」といった声が多く聞かれ、とても  
うれ いしがきじま みらい あか  
嬉しかったです。石垣島の未来はきっと明るい！

## 発行元：環境省 国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター

環境省国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターはサンゴ礁保全や環境保全についての取り組みをされる方はもちろん、どなたでもご利用いただけます。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

▶ <http://kyushu.env.go.jp/okinawa/coremoc/index.html>

ご利用に際しては事前の申し込みが必要な場合もありますので、下記までご連絡ください。

開館時間 8:30 ~ 17:15  
休館日 土曜・日曜・祝日  
利用料 無

〒907-0011 沖縄県石垣市八島町 2-27  
Tel : 0980-82-4768 Fax : 0980-82-0279 Website  
Email : coremoc@sirius.ocn.ne.jp

